

特色ある学校づくりに係る資料（平成29年度）

学番	20	学校名	県立村松高等学校	校長氏名	渡辺 欣彦
----	----	-----	----------	------	-------

I 校長として目指している学校像

- 1 地域に密着した高校として、地域住民に信頼され、慕われる学校
- 2 社会に出たときに、周りから慕われる人を育てる学校
- 3 生徒一人一人の進路希望を実現できる学校
- 4 ふるさとへの愛着と、「誇りを胸に」百年以上の伝統を力として、新たな歴史を積極的に作り出してゆく学校

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 1 「生徒が好き、勉強が好き、教えることが好き」な教師
- 2 絶えず研究と修養に努め、生徒を理解しつつ、魅力ある授業によって生徒の能力を最大限に伸ばす教師
- 3 学校という組織全体において協働し、学校の発展に尽力できる教師

III オンリーワンスクールの取り組み

- 1 「個に応じた指導」：国公立大学に継続して合格できるよう、また、一人一人の進路希望を確実に達成できるよう、個に応じた親身な指導を徹底する。
- 2 「松高を地域へアピール」：平成29年で106年という歴史と伝統ある学校として、今後も発展し続ける松高の特色ある教育活動を推進し、ホームページや各種広報誌による情報発信を積極的に行う。

IV 今年度実施したいこと

- 1 学習指導について
 - ・ 1時間1時間の授業を大切にするとともに、生徒にはシラバスを示し、計画立てて学習させる。
 - ・ 電子黒板を有効に活用し、効率的で分かりやすい授業を行っていく。
- 2 進路指導について
 - ・ 学校全体としての組織的な支援体制を確立し、模擬試験（基礎力診断テスト等）の有効活用、小論文指導・面接指導の充実を図る。
 - ・ インターンシップ、上級学校見学、職場見学等に積極的に参加させる。
- 3 生徒指導について
 - ・ 挨拶の奨励、正しい制服着用の指導、携帯電話使用マナーの徹底、清掃・整理整頓の徹底に取り組む。
 - ・ いじめ防止対策委員会、生徒情報交換会、学年会、職員会議等により、生徒情報の共有を図り、生徒指導に有効に役立てていく。
- 4 部活動について
 - ・ 部活動を通して人間関係の結び方を学ばせるとともに、部活動の活性化を学校の活性化につなげていく。
- 5 開かれた学校づくりの推進について
 - ・ 公開授業や授業参観を実施し、地域と連携した魅力と活力ある学校づくりを推進していく。